

令和7年度 教育訓練の概要



静岡県消防学校 Shizuoka Prefecture Fire and Disaster Management Academy

〒424-0211

静岡市清水区谷津町1丁目577-1

【TEL】054(369)1190

【FAX】054(369)1197

【e-mail】(総務課) fd-school-somu@pref.shizuoka.lg.jp

(教務課) fd-school-kyomu@pref.shizuoka.lg.jp

校訓

規律の厳守

技術の練磨

体力気力の練成

目 次

第1	教育訓練実施計画	
1	基本方針	1
2	教育目標	1
3	実施計画表・月別表・日程表	2～4
第2	教育訓練実施要領	
1	消防職員教育	
(1)	初任教育 初任科 (第96期) 4月	5
(2)	幹部教育 初級幹部科 (第27期) 10月	6
(3)	幹部教育 中級幹部科 (第39期) 11月	7
(4)	幹部教育 上級幹部科 (第24期) 10月	8
(5)	専科教育 警防科 (第20期) 11月	9
(6)	専科教育 予防査察・危険物科 (第10期) 2月	10
(7)	専科教育 火災調査科 (第50期) 12月	11
(8)	専科教育 救急科 (第35期) 1月	12
(9)	専科教育 救助科 (第42期) 9月	13
(10)	特別教育 水難救助科 (第33期) 6月	14
(11)	特別教育 潜水土試験対策講習 (第21回) 9月	15
(12)	特別教育 女性消防吏員講習 (第8回) 11月	16
(13)	特別教育 ホットトレーニング講習 (第4回) 12月～2月	17
(14)	特別教育 指令センター員講習 (第8回) 1月	18
(15)	特別教育 実践的大規模災害対応講習 (第8回) 2月	19
2	消防団員教育	
(1)	幹部教育 初級幹部科 (第17期) 11月	20
(2)	幹部教育 指揮幹部科現場指揮課程 (第12期) 9月	21
(3)	幹部教育 指揮幹部科分団指揮課程 (第11期) 12月	22
(4)	専科教育 警防科 (第20期) 10月	23
(5)	特別教育 災害対策講習 (第22回) 1月	24
(6)	特別教育 女性消防団員研修会 (第8回) 10月	25
3	入校時携行品一覧表	26～27
4	日課	28
第3	入校手続要領	
1	入校手続き	29
2	入校者への周知	29～30
3	入校関係書類提出上の注意事項	30～31
(1)	入校手続一覧表(別紙1)	32
(2)	入校経費一覧表(別紙2)	33
第4	入校関係書類	
1	入校推薦書(様式第1号)	35～36
2	入校推薦書(消防団員用)(様式第1号の2)	37～38
3	身上調書(様式第2号)	39～40
4	意見書(様式第3号)	41
5	入校辞退届(様式第7号)	42
6	入校辞退者・入校決定者の変更申請(様式第7号の3)	43
7	退校届(様式第11号)	44
8	顔写真台紙	45
9	通学届	46
10	初任科支給品サイズ調査表	47～48
第5	令和5年度教育訓練実績	50～51

第 1

教育訓練実施計画

1 基本方針

『消防学校の教育訓練の基準』（平成15年消防庁告示第3号）に基づき、静岡県消防学校の教育訓練は、消防職員及び消防団員に対して、消防の責務を正しく認識させるとともに、社会情勢の変化及び技術の進歩に的確に対応するため、県民から期待される水準において消防業務を適切、公正、安全かつ能率的に遂行することができるよう、消防に関する知識及び技能を効率的に習得させ、学術・技術の練磨、体力・気力の練成、規律の保持、協同精神の涵養を図り、即応態勢が取れる人材の育成を目的とする。

また、災害に強い安全・安心な地域社会を作るため、消防防災関係者等に対する教育訓練を行い、防火・防災意識の高揚を図るとともに、災害時に的確に対処できる基礎知識の習得に努める。

2 教育目標

(1) 消防職員教育

ア 初任教育

- (ア) 消防職員として必要な使命感及び協同精神の涵養並びに規律の厳守
- (イ) 社会情勢に即応できる消防職員に必要な基礎的な知識及び技術の習得
- (ウ) 体力及び気力の練成並びに迅速な行動力の習得

イ 幹部教育

- (ア) 幹部にふさわしい人格及び識見の涵養
- (イ) 消防行政全般の高度な知識の習得並びに災害対応能力及び安全管理能力の向上
- (ウ) 消防組織の管理運営能力と部下育成に必要な指導力の習得

ウ 専科教育

- (ア) 社会の変遷に即応できる高度で専門的な知識及び技術の習得
- (イ) 活力ある組織づくりの原動力となり得る専門リーダーとしての資質の向上

エ 特別教育

- (ア) 技術の進歩や社会情勢の変化等に応じた知識及び技術の習得
- (イ) 資格取得に必要な知識及び技術の習得
- (ウ) 消防活動要領及び安全管理に関する知識の習得

(2) 消防団員教育

ア 幹部教育

- (ア) 幹部にふさわしい人格及び識見の涵養
- (イ) 指揮監督者としての職責の認識と災害時における指揮能力の習得

イ 専科教育

- (ア) 社会の変遷に対応するために必要な専門的な知識及び技術の習得
- (イ) 地域防災力強化のための教育訓練技法の習得

ウ 特別教育

- (ア) 災害から地域住民を守る使命感及び責任感の涵養
- (イ) 消防活動や地域防災に関する知識及び技術の習得

(3) 消防防災関係者等教育

ア 防火や防災に関する知識及び技術の習得並びに意識の高揚

イ 自衛消防や自主防災組織に関する活動の重要性の認識並びに知識及び技術の習得

ウ 事業所又は地域における防災教育の指導者として必要な知識及び技術の習得

3 実 施 計 画 表

区分	教育訓練の種類別		実施年月日	入校者資格	到達目標
	初任教育	幹部教育			
消 防	初任教育	初 任 科	4/7 (月) ～ 9/26 (金)	新たに消防職員に採用された者(未受講者を含む。)	服務義務及び消防業務全般を理解し、警防隊員として基本的な安全管理と下命に基づく基本的活動ができること。
	幹部教育	初 級 幹 部 科	10/9 (木) ～ 10/23 (木)	原則として消防司令補の階級にある者又は消防士長の階級で部隊の長にある者	初級幹部としての責務を自覚するとともに、部下を指導できること。また、災害現場において、災害状況全般の把握及び迅速な意思決定に基づき、的確な安全管理と下命ができる能力を習得すること。
		中 級 幹 部 科	11/11 (火) ～ 11/20 (木)	原則として消防司令の階級にある者又は消防司令補の階級で管理を職務とする者	中級幹部としての責任、立場を理解するとともに、組織管理、社会動向等を理解し、災害等に対する的確な指揮及び対応ができること。
		上 級 幹 部 科	10/6 (月) ～ 10/8 (水)	署長等の管理監督者で、原則として消防司令長以上の階級にある者	管理監督者としての知識及び能力を高めるとともに、社会情勢を的確に把握し、大局的見地に立った組織の管理能力を備えること。
	専科教育	警 防 科	11/5 (水) ～ 11/20 (木)	警防業務従事者で、原則として消防司令長又は消防司令補の階級で隊長クラスにある者	警防活動に関する専門知識及び的確な活動要領を習得するとともに、現場指揮能力を備えること。
		予 防 査 索 ・ 危 険 物 科	2/24 (火) ～ 3/12 (木)	予防若しくは基務業務従事者又は危険物業務従事者若しくは予定者で、原則として予防士以上の階級にある者	査索・危険物行政の現状・課題を理解し、的確な査索要領の習得、違反対象物に対する是正指導ができること。また、危険物業務に関する専門的な知識及び技術を習得すること。
		火 災 調 査 科	12/8 (月) ～ 12/19 (金)	火災調査業務従事者又は予定者で、原則として消防士長以上の階級にある者	火災調査制度を理解し、原因調査、損害調査、鑑識等専門的知識と文書実務能力を習得すること。
		救 急 科	1/6 (火) ～ 2/27 (金)	新規救急業務従事予定者で、原則として初任科修了後3年以上経過した者(3年未満であっても配置等でも配慮等を得ないときは、事前に調整する。)	救急の基礎的知識と応急処置に必要な専門的知識・技術を習得し、救急器具等の取扱いに精通すること。
	員	救 助 科	9/30 (火) ～ 10/28 (火)	救助業務従事者	専門的知識と高度な技能・技術を備え、安全確保のもとで応用力を発揮できること。
		水 難 救 助 科	6/24 (火) ～ 7/11 (金)	水難救助業務従事予定者又は従事経験の少ない者	水難救助業務における基本的な救助戦術を理解し、潜水等に必要知識・技術を習得すること。
潜 水 士 試 験 対 策 講 習 科		9/30 (火)	原則として水難救助業務従事予定者	水難救助業務に必要な潜水士試験の免状取得が可能知識を習得すること。	
女 性 消 防 吏 員 講 習 科		11/26 (水) ～ 11/28 (金)	女性消防吏員	女性消防吏員としてのキャリア形成を考え、職域拡大等を目的とした知識及び能力を習得すること。	
特別教育		ホ ッ ト レ ー ニ ン グ 講 習 科	12/3 (水) ～ 2/18 (水)	消防吏員。ただし、令和元年度以降に本校でホットトレニングを体験した者並びに令和7年度初任科、初級幹部科、中級幹部科、警防科、救助科及び女性消防吏員講習の入校予定者を除く。	基礎的な火災性状の把握と消防活動による状況変化を体系的に確認し、安全管理を含めた現場活動につながる知識を習得すること。
		指 令 セ ン タ ー 一 員 講 習 科	1/13 (火) ～ 1/16 (金)	消防指令センター業務従事者又は予定者	119入電時における専門的知識(救急等)及び技術を習得すること。
		実 践 的 大 規 模 災 害 対 応 講 習 科	2/4 (水) ～ 2/6 (金)	原則として警防業務従事者及び緊急消防援助隊の登録隊員又はその予定者	大規模災害発生時において必要な、情報収集能力及び指揮能力を習得するとともに、的確な安全管理の下、円滑に活動が遂行できる専門的知識・技術を習得すること。
消 防 団 員 教 育		初 級 幹 部 科	11/8 (土)	原則として班長の階級にある者	消防団初級幹部としての職務を認識し、消防団の運営に必要な規律、災害活動要領、安全管理能力を習得すること。
		指 揮 幹 部 科 現 場 指 揮 課 程	9/28 (日)	原則として班長以上の階級にある者	大規模災害時における現場指揮者として、火災防ぎよ等に係る的確な現場指揮及び安全管理の知識・技術を習得するとともに、自主防災組織等に対して防災指導を遂行できる能力を備えること。
		指 揮 幹 部 科 分 団 指 揮 課 程	12/14 (日)	原則として部長以上の階級にある者	分団の指揮者としての職責を自覚し、消防団の運営に必要な組織制度、災害対応要領、安全管理を深く理解し、分団の管理運営及び現場活動の在り方を理解すること。
	警 防 科	10/26 (日)	団員として概ね3年以上の経験を有する者	火災防ぎよに関する専門的知識及び行動原則を理解し、災害現場において中核的な活動を遂行できること。	
	災 害 対 策 講 習 科	1/25 (日)	一般消防団員	大規模災害対策の中心となる消防団員の心構えと災害時の専門的知識、行動等を認識、体験すること。	
特別教育	女 性 消 防 団 員 研 修 会	10/19 (日)	女性消防団員	消防団員の心構えと災害時の専門的知識を習得するとともに住民や自主防災組織に対して防災指導を遂行できる能力を備えること。	
消 防 団 員 教 育	「 県 民 の 日 」 消 防 学 校 訓 練 体 験	8/21 (木)	原則として小学生及び保護者並びに消防職員志望者	県民の日のイベントとして、消防学校の各種体験を通じて広く消防防災への理解を深める。	
消 防 団 員 教 育	県 新 規 採 用 職 員 研 修	10/1 (水) ～ 10/3 (金)	県新規採用職員	大規模災害対策の中心となる県職員の心構えと災害時における規律ある行動の必要性等を体験を通じて理解すること。	
消 防 団 員 教 育	民 間 防 火 組 織 指 導 者 消 防 学 校 体 験 入 校	未定	県女性防火クラブ連絡協議会会員等	民間の防火関係団体の指導的な立場にある者として災害時の対応行動等を体験を通じて理解すること。	

(注) 1 初任科第96期について
 (1) 7月7日(月)～7月11日(金)を実務研修とする。
 (2) 8月4日(月)、22日(金)及び9月22日(月)の3日間を夏季休暇とする。
 (3) 4月29日(火)の「昭和の日」は5月2日(金)を代休日とする。
 2 救急科第35期について、2月11日(水)の「建国記念の日」は2月20日(金)を代休日とする。

月 別 表

区分	教育訓練の種類別	実施年月日	令和7年							令和8年												
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月								
消防職員教育	初任科	4/7 (月) ~ 9/26 (金)	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←				
	水難救助科	6/24 (火) ~ 7/11 (金)			↔																	
	救助科	9/30 (火) ~ 10/28 (火)							↔													
	潜水士試験対策講習	9/30 (火)							●													
	上級幹部科	10/6 (月) ~ 10/8 (水)							↔													
	初級幹部科	10/9 (木) ~ 10/23 (木)								↔												
	警防科	11/5 (水) ~ 11/20 (木)									↔											
	中級幹部科	11/11 (火) ~ 11/20 (木)									↔											
	女性消防吏員講習	11/26 (水) ~ 11/28 (金)									↔											
	ホットトレーニング講習	12/3 (水) ~ 2/18 (水)										●	●	●	●	●	●	●	●	●		
	火災調査科	12/8 (月) ~ 12/19 (金)											↔									
	救急科	1/6 (火) ~ 2/27 (金)																				
	指令センター員講習	1/13 (火) ~ 1/16 (金)																				
	実践的大規模災害対応講習	2/4 (水) ~ 2/6 (金)																				
予防査察・危険物科	2/24 (火) ~ 3/12 (木)																					
消防団員教育	指揮幹部科現場指揮課程	9/28 (日)								●												
	女性消防団員研修会	10/19 (日)									●											
	警防科	10/26 (日)										●										
	初級幹部科	11/8 (土)											●									
	指揮幹部科分団指揮課程	12/14 (日)												●								
	災害対策講習	1/25 (日)																				
	「県民の日」消防学校訓練体験	8/21 (木)													●							
県新規採用職員研修	10/1 (水) ~ 10/3 (金)																					
民間防火組織指導者消防学校体験入校	未定																					

(注) 1 初任科第96期について

- (1) 7月7日(月)～7月11日(金)を実務研修とする。
 - (2) 8月4日(月)、22日(金)及び9月22日(月)の3日間を夏季休暇とする。
 - (3) 4月29日(火)の「昭和の日」は5月2日(金)を代休日とする。
- 2 救急科第35期について、2月11日(水)の「建国記念の日」は2月20日(金)を代休日とする。

日程表

月	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31						
4	月																																					
5	日																																					
6	月																																					
7	日																																					
8	月																																					
9	日																																					
10	月																																					
11	日																																					
12	月																																					
1	日																																					
2	月																																					
3	日																																					

第 2

教育訓練実施要領

1 消防職員教育

(1) 初任教育 初任科 (第96期)

- 1 教育期間 令和7年4月7日(月)～9月26日(金) 教育日数115日
 - (1) 実務研修 7月7日(月)～7月11日(金)
 - (2) 夏季休暇 8月4日(月)、22日(金)及び9月22日(月)
 - (3) 代休日 4月29日(火)の「昭和の日」は開校し、5月2日(金)を代休日とする。
- 2 入校資格 新たに消防職員に採用された者(未受講者を含む。)
- 3 入校受付 令和7年4月7日(月) 午前8時15分～9時
- 4 教育訓練科目(予定)

区分	教科目	時間数	区分	教科目	時間数
基礎教育	倫理(ハラスメント等)	5	実科訓練	訓練礼式	48
	消防法	11		消防活動訓練	82
	法学基礎	8		救助訓練	46
	消防組織制度	9		機器取扱訓練	54
	服務と勤務	26		消防活動応用訓練	85
	理化学	15		体育	49
	小計	74		小計	364
実務教育	予防広報	20	その他	実務研修	35
	危険物	10		選択研修(情操含む。)	44
	消防用設備	12		行事その他	68
	査察	26		小計	147
	建築	10	合計		801
	安全管理	16	※ 効果測定は教科目時間数に含む。		
	火災防ぎょ	26			
	火災調査	15			
	救急	44			
	消防機械・ポンプ	10			
	特殊災害と保安	10			
	防災	17			
	小計	216			

5 修了式等

- (1) 修了式は、最終日の午前10時から実施する。
- (2) 所定の教科目を修了した者には、修了証書を交付する。
- (3) 修了者の該当消防本部(局)に対して、教育訓練結果通知書(効果測定・体力測定・取得資格)を送付する。

6 その他

- (1) 入校中、危険物取扱者試験乙種第4類を受験する(P30参照)。
- (2) 登下校時はスーツ等を着用し、公共交通機関を利用すること。
- (3) 校内への車両乗り入れは、公用車のみとする。
- (4) 面会は所属長以外厳禁とする。

(2) 幹部教育 初級幹部科 (第27期)

- 1 教育期間 令和7年10月9日(木)～10月23日(木) 教育日数10日
- 2 入校資格 原則として消防司令補の階級にある者又は消防士長の階級で部隊の長にある者
- 3 入校受付 令和7年10月9日(木) 午前8時30分～9時
- 4 教育訓練科目(予定)

教 科 目	時間数
講話	1
訓練礼式	1
消防時事	8
消防財政	2
人事業務管理(ハラスメント・コンプライアンス)	12
安全管理	12
現場指揮	18
事例研究	14
行事その他	2
合 計	70

- 5 その他
 - (1) 修了者の該当消防本部(局)に対して、修了通知書を送付する。
 - (2) 事例研究については別途通知する。
 - (3) 登下校時はスーツ等を着用し、公共交通機関を利用すること。
 - (4) 校内への車両乗入れは、公用車のみとする。
 - (5) 公用車、自家用車等により通学させる場合、通学届(P46参照)を提出すること。
 - (6) 面会は所属長以外厳禁とする。
 - (7) 盛夏服は、長袖、ネクタイ及び白手袋を持参すること。

(3) 幹部教育 中級幹部科 (第39期)

- 1 教育期間 令和7年11月11日(火)～11月20日(木) 教育日数8日
- 2 入校資格 原則として消防司令の階級にある者又は消防司令補の階級で管理を職務とする者
- 3 入校受付 令和7年11月11日(火) 午前8時30分～9時
- 4 教育訓練科目(予定)

教 科 目	時間数
講話	1
訓練礼式	1
消防時事	7
消防財政	3
人事業務管理(ハラスメント・コンプライアンス等)	4
安全管理	7
現場指揮	27
事例研究	4
行事その他	2
合 計	56

- 5 その他
 - (1) 修了者の該当消防本部(局)に対して、修了通知書を送付する。
 - (2) 事例研究については別途通知する。
 - (3) 登下校時はスーツ等を着用し、公共交通機関を利用すること。
 - (4) 校内への車両乗入れは、公用車のみとする。
 - (5) 公用車、自家用車等により通学させる場合、通学届(P46参照)を提出すること。
 - (6) 面会は所属長以外厳禁とする。

(4) 幹部教育 上級幹部科 (第24期)

- 1 教育期間 令和7年10月6日(月)～10月8日(水) 教育日数3日
- 2 入校資格 署長等の管理監督者で、原則として消防司令長以上の階級にある者
- 3 入校受付 令和7年10月6日(月) 午前8時30分～9時
- 4 教育訓練科目(予定)

教 科 目	時間数
管理職の役割	2
人事管理	4
業務管理(消防行政)	2
危機管理	3
報道対応	2
事例研究	3
訴訟問題と対応	3
行事・その他	2
合 計	21

- 5 その他
 - (1) 修了者の該当消防本部(局)に対して、修了通知書を送付する。
 - (2) 事例研究については別途通知する。
 - (3) 登下校時はスーツ等を着用し、公共交通機関を利用すること。
 - (4) 校内への車両乗入れは、公用車のみとする。
 - (5) 公用車、自家用車等により通学させる場合、通学届(P46参照)を提出すること。
 - (6) 盛夏服は長袖を持参すること(制帽、ネクタイ及び白手袋は不要)。

(5) 専科教育 警防科 (第20期)

- 1 教育期間 令和7年11月5日(水)～11月20日(木) 教育日数12日
- 2 入校資格 警防業務従事者で、原則として消防士長又は消防司令補の階級で隊長クラスにある者
- 3 入校受付 令和7年11月5日(水) 午前8時30分～9時
- 4 教育訓練科目(予定)

教 科 目	時間数
講話	1
警防対策	10
消防戦術(指揮を含む。)と安全管理	33
図上訓練	7
実技訓練(消防活動要領、指揮要領)	29
効果測定	1
行事その他	3
合 計	84

- 5 その他
 - (1) 修了者の該当消防本部(局)に対して、修了通知書を送付する。
 - (2) 登下校時はスーツ等を着用し、公共交通機関を利用すること。
 - (3) 校内への車両乗入れは、公用車のみとする。
 - (4) 公用車、自家用車等により通学させる場合、通学届(P46参照)を提出すること。
 - (5) 面会は所属長以外厳禁とする。

(6) 専科教育 予防査察・危険物科 (第10期)

- 1 教育期間 令和8年2月24日(火)～3月12日(木) 教育日数13日
- 2 入校資格 予防若しくは査察業務従事者又は危険物業務従事者若しくは予定者で、原則として消防士長以上の階級にある者
- 3 入校受付 令和8年2月24日(火) 午前8時30分～9時
- 4 教育訓練科目(予定)

教 科 目	時間数
講話	1
予防査察・危険物行政の現状と課題	2
消防同意	6
査察	24
危険物規制	21
危険物化学	5
違反処理	14
査察実習	7
事例研究(査察・危険物)	6
効果測定(査察・危険物)	2
行事・その他	3
合 計	91

- 5 その他
 - (1) 修了者の該当消防本部(局)に対して、修了通知書を送付する。
 - (2) 事例研究については別途通知する。
 - (3) 登下校時はスーツ等を着用し、公共交通機関を利用すること。
 - (4) 校内への車両乗入れは、公用車のみとする。
 - (5) 公用車、自家用車等により通学させる場合、通学届(P46参照)を提出すること。
 - (6) 面会は所属長以外厳禁とする。

(7) 専科教育 火災調査科 (第 50 期)

- 1 教育期間 令和 7 年 12 月 8 日 (月) ~12 月 19 日 (金) 教育日数 10 日
- 2 入校資格 火災調査業務従事者又は予定者で、原則として消防士長以上の階級にある者
- 3 入校受付 令和 7 年 12 月 8 日 (月) 午前 8 時 30 分~9 時
- 4 教育訓練科目 (予定)

教 科 目	時間数
講話	1
原因調査関係法規	6
原因調査	20
損害調査	2
鑑識(鑑定)	7
調査実習	10
調査書類	17
事例研究	2
効果測定	1
行事その他	4
合 計	70

- 5 その他
 - (1) 修了者の該当消防本部(局)に対して、修了通知書を送付する。
 - (2) 事例研究については別途通知する。
 - (3) 登下校時はスーツ等を着用し、公共交通機関を利用すること。
 - (4) 校内への車両乗入れは、公用車のみとする。
 - (5) 公用車、自家用車等により通学させる場合、通学届(P46 参照)を提出すること。
 - (6) 面会は所属長以外厳禁とする。

(8) 専科教育 救急科 (第 35 期)

- 1 教育期間 令和 8 年 1 月 6 日 (火) ~ 2 月 27 日 (金) 教育日数 36 日
 - (1) 入寮期間 令和 8 年 2 月 10 日 (火) ~ 2 月 19 日 (木)
 - (2) 代休日 2 月 11 日 (水) の「建国記念の日」は開校し、2 月 20 日 (金) を代休日とする。
- 2 入校資格 新規救急業務従事者で、原則として初任科修了後 3 年以上経過した者 (3 年未満であっても配置等でやむを得ないときは、事前に調整する。)
- 3 入寮受付 令和 8 年 2 月 10 日 (火) 午前 8 時 30 分 ~ 9 時
- 4 教育訓練科目 (予定)

教 科 目	時間数
救急業務及び救急医学の基礎	45
応急処置の総論	70
病態別応急処置	51
特殊病態別応急処置	28
効果測定	2
実習及び行事	56
合 計	252

- 5 その他
 - (1) 修了者の該当消防本部 (局) に対して、修了通知書を送付する。
 - (2) 登下校時はスーツ等を着用し、公共交通機関を利用すること。
 - (3) 校内への車両乗入れは、公用車のみとする。
 - (4) 公用車、自家用車等により通学させる場合、通学届 (P46 参照) を提出すること。
 - (5) 面会は所属長以外厳禁とする。

(9) 専科教育 救助科 (第 42 期)

- 1 教育期間 令和 7 年 9 月 30 日 (火) ~10 月 28 日 (火) 教育日数 20 日
- 2 入校資格 救助業務従事者
- 3 入校受付 令和 7 年 9 月 30 日 (火) 午前 8 時 30 分~ 9 時
- 4 教育訓練科目 (予定)

教 科 目	時間数
講話	1
安全管理	14
災害救助対策	23
救助器具取扱訓練	25
救助訓練	32
総合訓練	30
健康管理	6
事例研究	2
効果測定	1
行事その他	6
合 計	140

5 その他

- (1) 修了者の該当消防本部 (局) に対して、修了通知書を送付する。
- (2) 事例研究については別途通知する。
- (3) 登下校時はスーツ等を着用し、公共交通機関を利用すること。
- (4) 校内への車両乗入れは、公用車のみとする。
- (5) 公用車、自家用車等により通学させる場合、通学届 (P46 参照) を提出すること。
- (6) 面会は所属長以外厳禁とする。
- (7) 盛夏服は、長袖、ネクタイ及び白手袋を持参すること。

(10) 特別教育 水難救助科 (第 33 期)

- 1 教育期間 令和 7 年 6 月 24 日 (火) ~ 7 月 11 日 (金) 教育日数 14 日
- 2 入校資格 水難救助業務従事予定者又は従事経験の少ない者で、潜水訓練に際し耳抜きが正常に行える者。
- 3 入校受付 令和 7 年 6 月 24 日 (火) 午前 8 時 30 分 ~ 9 時
- 4 教育訓練科目 (予定)

教 科 目	時間数
潜水理論	5
潜水計画立案	2
潜水安全管理	5
水難救助対策	15
スキンドайビング	11
スクーバダイビング	22
応用訓練 (海洋)	7
総合訓練 (海洋)	7
基本・応用訓練 (河川)	7
総合訓練 (河川)	7
事例研究	2
効果測定	2
行事・その他	6
合 計	98

- 5 その他
 - (1) 修了者の該当消防本部 (局) に対して、修了通知書を送付する。
 - (2) 事例研究については別途通知する。
 - (3) 登下校時はスーツ等を着用し、公共交通機関を利用すること。
 - (4) 校内への車両乗入れは、公用車のみとする。
 - (5) 公用車、自家用車等により通学させる場合、通学届 (P46 参照) を提出すること。
 - (6) 面会は所属長以外厳禁とする。
 - (7) 盛夏服は、長袖、ネクタイ及び白手袋を持参すること。

(11) 特別教育 潜水士試験対策講習 (第 21 回)

- 1 教育期間 令和 7 年 9 月 30 日 (火) 教育日数 1 日
- 2 入校資格 原則として水難救助業務従事予定者
- 3 入校受付 令和 7 年 9 月 30 日 (火) 午前 8 時～ 8 時 15 分
- 4 教育訓練科目 (予定)

教 科 目	時間数
関係法令、潜水業務	3
送気、潜行、高気圧障害	4
合 計	7

- 5 その他
 - (1) 修了者の該当消防本部 (局) に対して、修了通知書を送付する。
 - (2) 登下校時及び受講時はスーツ等を着用すること。
 - (3) 登下校時は公共交通機関を利用すること。
 - (4) 公用車、自家用車等により通学させる場合、通学届 (P46 参照) を提出すること。

(12) 特別教育 女性消防吏員講習（第8回）

- 1 教育期間 令和7年11月26日（水）～11月28日（金） 教育日数3日
- 2 入校資格 女性消防吏員
- 3 入校受付 令和7年11月26日（水） 午前8時30分～9時
- 4 教育訓練科目（予定）

教 科 目	時間数
安全管理	1
現場指揮	1
女性活躍推進	2
事例研究	2
火災防ぎょ	2
実技訓練（実火災体験型訓練等）	11
行事・その他	2
合 計	21

- 5 その他
 - (1) 修了者の該当消防本部（局）に対して、修了通知書を送付する。
 - (2) 事例研究については別途通知する。
 - (3) 登下校時はスーツ等を着用し、公共交通機関を利用すること。
 - (4) 校内への車両乗入れは、公用車のみとする。
 - (5) 公用車、自家用車等により通学させる場合、通学届（P46 参照）を提出すること。
 - (6) 面会は所属長以外厳禁とする。

(13) 特別教育 ホットトレーニング講習 (第4回)

- 1 教育期間 令和7年12月3日(水)～令和8年2月18日(水) 教育日数 半日

日時	午前	午後
令和7年12月3日(水)	1班	2班
令和7年12月10日(水)	3班	4班
令和8年1月7日(水)	5班	6班
令和8年1月21日(水)	7班	8班
令和8年1月28日(水)	9班	10班
令和8年2月3日(火)	11班	12班
令和8年2月10日(火)	13班	14班
令和8年2月18日(水)	15班	16班

- 2 入校資格 消防吏員。ただし、令和元年度以降に本校でホットトレーニングを体験した者並びに令和7年度初任科、初級幹部科、中級幹部科、警防科、救助科及び女性消防吏員講習の入校予定者を除く。

- 3 入校受付

- (1) 午前班 各講習日 午前8時45分～9時
(2) 午後班 各講習日 午後1時15分～1時30分

- 4 教育訓練科目 (予定)

教 科 目	時間数
濃煙熱気実火災訓練	3
合 計	3

- 5 服装・携行品

- (1) 受講中の服装は、活動服又は救助服とする。
(2) 携行品は、共済組合員証、筆記用具、洗面用具（ボディークリーム、シャンプー等）、ヘルメット、防火衣、防火ズボン、防火手袋、防火帽、防火長靴、防火フード（支給のある所属のみ。）、空気ボンベ（容量は問わない。）及び上履用サンダルとする。
※防火衣の墜落制止用器具は外すこと。

- 6 その他

- (1) 消防吏員数の割合に応じて按分した各消防本部（局）の入校生数上限に基づき、各消防本部（局）に入校者数及び入校日を別途通知する。
(2) 修了者の該当消防本部（局）に対して、修了通知書を送付する。
(3) 登下校時はスーツ等を着用し、公共交通機関を利用すること。
(4) 公用車、自家用車等により通学させる場合の通学届方法については別途通知する。

(14) 特別教育 指令センター員講習（第8回）

- 1 教育期間 令和8年1月13日（火）～1月16日（金） 教育日数4日
- 2 入校資格 消防指令センター業務従事者又は予定者（救急未資格者を含む。）
- 3 入校受付 令和8年1月13日（火） 午前8時30分～9時
- 4 教育訓練科目（予定）

教 科 目	時間数
医学教育（通信指令員に必要な医学的知識）	2
図上訓練	3
火災対応（情報聴取要領）	2
指令員に対する教育・ヒヤリハット事案	4
通信コミュニケーション・個人情報・ 報道対応・口頭指導	5
模擬訓練（口頭指導・緊急度判定・各種想定）	6
事例研究	4
行事その他	2
合 計	28

5 その他

- (1) 修了者の該当消防本部（局）に対して、修了通知書を送付する。
- (2) 事例研究については別途通知する。
- (3) 登下校時はスーツ等を着用し、公共交通機関を利用すること。
- (4) 校内への車両乗入れは、公用車のみとする。
- (5) 公用車、自家用車等により通学させる場合、通学届（P46 参照）を提出すること。
- (6) 面会は所属長以外厳禁とする。

(15) 特別教育 実践的大規模災害対応講習（第8回）

- 1 教育期間 令和8年2月4日（水）～2月6日（金） 教育日数3日
- 2 入校資格 原則として警防業務従事者及び緊急消防援助隊の登録隊員又はその予定者
- 3 入校受付 令和8年2月4日（水） 午前8時30分～9時
- 4 教育訓練科目（予定）

教 科 目	時間数
大規模災害対応（応援受援体制）	4
緊急消防援助隊（応援受援計画）	3
土砂災害対応	2
大規模災害図上訓練	4
集団救急事故対応	3
テロ災害・多数傷病者対応	4
行事その他	1
合 計	21

- 5 その他
 - (1) 修了者の該当消防本部（局）に対して、修了通知書を送付する。
 - (2) 登下校時はスーツ等を着用し、公共交通機関を利用すること。
 - (3) 校内への車両乗入れは、公用車のみとする。
 - (4) 公用車、自家用車等により通学させる場合、通学届（P46 参照）を提出すること。
 - (5) 面会は所属長以外厳禁とする。

2 消防団員教育

(1) 幹部教育 初級幹部科 (第17期)

- 1 教育期間 令和7年11月8日(土) 教育日数1日
(座学については、事前にeラーニングで受講)
- 2 入校資格 原則として班長の階級にある者
- 3 入校受付 令和7年11月8日(土) 午前8時20分～8時50分
- 4 教育訓練科目(予定)

教 科 目	時間数	備 考
講話	1	eラーニング
訓練礼式	1	
	1	eラーニング
現場指揮	2	
防災	3	
防災指導要領	1	
	0.5	eラーニング
安全管理	1.5	eラーニング
行事その他	1	
合 計	12	

- 5 結果通知
所定の教科目を修了した場合、消防団長に修了通知書を送付する。
- 6 服装・携行品
 - (1) 服装は、消防団の活動服又は作業服とする。
 - (2) 携行品は、健康保険証、筆記用具、防寒具、雨具(雨天の場合)、上履用サンダル、編上靴又は長靴、ヘルメット、アポロキャップ及び革手袋とする。
- 7 その他
 - (1) 当該課程を修了した者には、修了証を交付する。
 - (2) 昼食は本校で用意する(自己負担はありません。)
 - (3) 終了は、概ね午後4時30分とする。

(2) 幹部教育 指揮幹部科 現場指揮課程 (第12期)

- 1 教育期間 令和7年9月28日(日) 教育日数1日
(座学については、事前にeラーニングで受講)
- 2 入校資格 原則として班長以上の階級にある者
- 3 入校受付 令和7年9月28日(日) 午前8時～8時30分
- 4 教育訓練科目 (予定)

教 科 目	時間数	備 考
講話、現場指揮	2	eラーニング
火災防ぎょ訓練	2	
水災活動・避難誘導	2	eラーニング
安全管理	1	eラーニング
災害情報収集(ドローン講習含む。)	1	
地域防災指導訓練	1	
救助、救命訓練	4	
行事その他	1	
合 計	14	

- 5 結果通知
所定の教科目を修了した場合、消防団長に修了通知書を送付する。
- 6 服装・携行品
 - (1) 服装は、消防団の活動服又は作業服とする。
 - (2) 携行品は、健康保険証、筆記用具、雨具(雨天の場合)、上履用サンダル、編上靴又は長靴、ヘルメット、保護めがね又はゴーグル及び革手袋とする。
- 7 その他
 - (1) 当該課程を修了した者には、修了証を交付する。
 - (2) 現場指揮課程及び分団指揮課程の両課程を修了した者は、指揮幹部科の修了を認定し、修了証及びき章を交付する。
 - (3) 本課程は、消防団員指導員研修と同時開催とし、修了した者は指導員章を交付する。
 - (4) 昼食は本校で用意する(自己負担はありません。)
 - (5) 終了は、概ね午後5時30分とする。

(3) 幹部教育 指揮幹部科 分団指揮課程 (第11期)

- 1 教育期間 令和7年12月14日(日) 教育日数1日
(座学については、事前にeラーニングで受講)
- 2 入校資格 原則として部長以上の階級にある者
- 3 入校受付 令和7年12月14日(日) 午前9時～9時30分
- 4 教育訓練科目(予定)

教 科 目	時間数	備 考
講話	1	eラーニング
安全管理	1	eラーニング
消火戦術(常備消防との共通認識)	1	eラーニング
指揮訓練	2	
防災(消防団の役割)	2	eラーニング
指揮・現場連携(グループディスカッション)	2	
行事その他	1	
合 計	10	

- 5 結果通知
所定の教科目を修了した場合、消防団長に修了通知書を送付する。
- 6 服装・携行品
 - (1) 服装は、消防団の活動服又は作業服とする。
 - (2) 携行品は、健康保険証、筆記用具及び上履用サンダルとする。
- 7 その他
 - (1) 当該課程を修了した者には、修了証を交付する。
 - (2) 現場指揮課程及び分団指揮課程の両課程を修了した者は、指揮幹部科の修了を認定し、修了証及びき章を交付する。
 - (3) 昼食は本校で用意する(自己負担はありません。)
 - (4) 終了は、概ね午後3時30分とする。

(4) 専科教育 警防科 (第 20 期)

- 1 教育期間 令和 7 年 10 月 26 日 (日) 教育日数 1 日
(座学については、事前に e ラーニングで受講)
- 2 入校資格 団員として概ね 3 年以上の経験を有する者
- 3 入校受付 令和 7 年 10 月 26 日 (日) 午前 8 時～8 時 30 分
- 4 教育訓練科目 (予定)

教 科 目	時間数	備 考
火災防ぎよ	5	
防災	2	e ラーニング
安全管理	2	e ラーニング
事例研究	2	
行事その他	1	
合 計	12	

- 5 結果通知
所定の教科目を修了した場合、消防団長に修了通知書を送付する。
- 6 服装・携行品
 - (1) 服装は、消防団の活動服又は作業服とする。
 - (2) 携行品は、健康保険証、筆記用具、防寒具、雨具 (雨天の場合)、上履用サンダル、編上靴又は長靴、ヘルメット及び革手袋とする。
- 7 その他
 - (1) 昼食は本校で用意する (自己負担はありません。)
 - (2) 終了は、概ね午後 5 時とする。

(5) 特別教育 災害対策講習 (第 22 回)

- 1 講習日 令和 8 年 1 月 25 日 (日) 教育日数 1 日
- 2 入校資格 一般消防団員
- 3 入校受付 令和 8 年 1 月 25 日 (日) 午前 9 時～9 時 30 分
- 4 教育訓練科目 (予定)

教 科 目	時間数
災害対策 (座学)	2
災害活動訓練 (実科) (ドローン概要を含む。)	3
行事その他	1
合 計	6

- 5 結果通知
所定の教科目を修了した場合、消防団長に修了通知書を送付する。
- 6 服装・携行品
 - (1) 服装は、消防団の活動服又は作業服とする。
 - (2) 携行品は、健康保険証、筆記用具、防寒具、雨具 (雨天の場合)、上履用サンダル、編上靴又は長靴、ヘルメット及び革手袋とする。
- 7 その他
 - (1) 昼食は本校で用意する (自己負担はありません。)
 - (2) 終了は、概ね午後 4 時 15 分とする。

(6) 特別教育 女性消防団員研修会 (第8回)

- 1 講習日 令和7年10月19日(日) 教育日数1日
- 2 入校資格 女性消防団員
- 3 入校受付 令和7年10月19日(日) 午前9時～9時30分
- 4 教育訓練科目(予定)

教 科 目	時間数
防災(座学)	2
災害活動訓練(座学)	1
災害活動訓練(実科)	2
合 計	5

- 5 結果通知
所定の教科目を修了した場合、消防団長に修了通知書を送付する。
- 6 服装・携行品
 - (1) 服装は、消防団の活動服又は作業服とする。
 - (2) 携行品は、健康保険証、筆記用具、雨具(雨天の場合)、上履用サンダル、編上靴又は長靴、ヘルメット及び革手袋とする。
- 7 その他
 - (1) 昼食は本校で用意する(自己負担はありません。)
 - (2) 終了は、概ね午後3時40分とする。

3 入校時携行品一覧表

携行品 教育訓練名		携 行 品													
		制服・制帽・白手袋・黒短靴	消防手帳・共済組合員証	筆記用具・ノート	洗面用具・日用品・体温計・上履用サンダル・常備薬	アポロキャップ・運動靴(注1)	黒又は紺靴下	活動服	救助服	ヘルメット・編上靴・革手袋	防火衣一式(注2)	基本六法 (又は消防関係法規集)	その他		
消 防 職 員 教 育	初 任 教 育	初 任 科	注3	○	○	○	注3	○	○	○	注4	○ (中吉)	印鑑 裁縫道具 携帯ラジオ 非常食(7日分) リュックサック(注5) カップ・ライト		
	幹 部 教 育	初 級 幹 部 科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	注6	○	カップ	
		中 級 幹 部 科	○	○	○	○	○	○	○	○	注6	注6	○		
		上 級 幹 部 科	注7	注7	○	○	注7	○							
	専 科 教 育	警 防 科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	カップ
		予防査察・危険物科	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		
		火 災 調 査 科	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	注8	
		救 急 科	○	○	○	○	○	○	○	○					実習用室内靴
		救 助 科	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		注8
	特 別 教 育	水 難 救 助 科	○	○	○	○	○	○	○	○					潜水器材一式、フィンストラップ予備、水着
		潜水士試験対策講習			○										上履用サンダル
		女性消防吏員講習		注9	○	○	○	○	○		○	○			カップ、ヘッドライト
		ホットトレーニング講習	1 消防職員教育 (13)ホットトレーニング講習(P17)携行品参照												
		指令センター員講習		注9	○	○	○	○	○	○					
実践的大規模災害対応講習			注9	○	○	○	○	○	○						
消 防 団 員 教 育	幹 部 教 育	初 級 幹 部 科	2 消防団員教育 (1)初級幹部科(P20)携行品参照												
		指 揮 幹 部 科 現 場 指 揮 課 程 (消防団員指導員研修)	2 消防団員教育 (2)現場指揮課程(P21)携行品参照												
		指 揮 幹 部 科 分 団 指 揮 課 程	2 消防団員教育 (3)分団指揮課程(P22)携行品参照												
	専 科 教 育	警 防 科	2 消防団員教育 (4)警防科 (P23)携行品参照												
	特 別 教 育	災 害 対 策 講 習	2 消防団員教育 (5)災害対策講習(P24)携行品参照												
		女 性 消 防 団 員 研 修 会	2 消防団員教育 (6)女性消防団員研修会 (P25)携行品参照												

- * 携行品は、所属及び氏名を記載すること。
- * 各教育訓練において、上記のほか携行品が必要となる場合は別途通知する。

注1 トレーニングウェアは長ズボンとする。なお、ハーフパンツが必要な場合は別途指示する。

注2 防火衣一式とは、防火衣、防火ズボン、防火手袋、防火帽、墜落制止用器具、防火長靴のうち、所属が支給するもの。

なお、防火フードが支給されている場合は防火フードを含む。

注3 白手袋及びアポロキャップは除く。

注4 革手袋は除く。

注5 リュックサックは、65 mmホース1本収納可能なもの。※容積は概ね70L以上
(参考)



注6 カリキュラム確定後、詳細を通知する。

注7 制帽、白手袋、黒短靴、消防手帳、アポロキャップ及び運動靴は除く。

注8 別途、担当より詳細を通知する。

注9 消防手帳は除く。

4 日 課

日課内容	登校日日課		通常日課	
	開始時間	終了時間	開始時間	終了時間
起床、日朝点呼準備	————	————	6時30分	————
日朝点呼及び体育	————	————	6時50分	7時20分
朝 食	————	————	7時30分	————
自室清掃、授業準備	————	————	7時50分	————
日直・寮直交代	9時00分	————	8時20分	————
通常点検(指定日)	————	————	8時30分	8時50分
第1時限	9時20分	10時10分	9時00分	9時50分
第2時限	10時20分	11時10分	10時00分	10時50分
第3時限	11時20分	12時10分	11時00分	11時50分
昼 食	12時20分	————	12時00分	————
休 憩	12時50分	————	12時30分	————
第4時限	13時20分	14時10分	13時00分	13時50分
第5時限	14時20分	15時10分	14時00分	14時50分
第6時限	15時20分	16時10分	15時00分	15時50分
第7時限	16時20分	17時10分	16時00分	16時50分
夕 食	17時30分	————	17時20分	————
校内清掃	18時00分	————	17時50分	————
課外活動	18時20分	————	18時10分	————
日夕点呼	21時45分			
センサーチェック	22時20分			
消灯、就寝	22時30分			

(注)

- 1 1時限は、原則として50分とする。
- 2 通常点検実施日の日直・寮直交代は、8時05分とする。

第 3

入校手続要領

1 入校手続き

(1) 入校者の選定

消防長又は消防団長は、「第2 教育訓練実施要領」に定める入校資格に適合する者の中から推薦者を選定し、入校関係書類を提出する。

(2) 入校、退校等の手続きに関する提出書類

- ア 「入校推薦書」……………【様式第1号】
- イ 「入校推薦書(消防団員用)」……………【様式第1号の2】
- ウ 「身上調書」……………【様式第2号】
- エ 「意見書」……………【様式第3号】
- オ 「入校辞退届」……………【様式第7号】
- カ 「入校辞退者・入校決定者の変更申請」……………【様式第7号の3】
- キ 「退校届」……………【様式第11号】
- ク 「顔写真台紙」……………【P45】
- ケ 「通学届」……………【P46】
- コ 「初任科支給品サイズ調査表」……………【P47～P48】
- サ 「職員健康診断書(写)」……………【各所属の職員健康診断書の写し】

(3) 入校手続き事務

入校関係書類は、別紙1「入校手続一覧表」(P32)による入校書類受付締切日までに、消防学校へ郵送すること。

(4) 入校決定

学校長は、入校関係書類を審査の上、「入校決定通知書」を消防長又は消防団長に通知する。

(5) 入校決定後の辞退及び入校予定者の変更

入校決定後に該当者が出た場合、速やかに本校に連絡するとともに「入校辞退届」又は「入校辞退者・入校決定者の変更申請」を提出すること。

なお、入校予定者の変更については、以下の期限までとし、やむを得ない場合に限り変更を認める。

ア 消防職員教育の場合、初任教育は入校日1か月前まで、専科教育等は入校日2日前までとする。

イ 消防団員教育の場合は、入校日直近の金曜日正午までとする。

(6) 入校経費の手続き

入校経費は、別紙2「入校経費一覧表」(P33)を確認し、納入期限までに納入すること。

2 入校者への周知

消防本部等の入校事務担当者は、入校予定者に対して次の事項について周知する。

(1) 教育訓練実施要領(P5～P25)に該当する科(講習)の記載事項を確認し、「入校時携行品一覧表」(P26～P27)に基づく携行品等を持参し入校すること。

(2) 入校前に宅配便で荷物を発送する場合、入校日前日(土日及び祝日を除く。)の午前を指定し、所属、氏名、教育訓練名又は講習名を記載すること。

(注) 荷物を発送する場合は、事前に連絡すること。

- (3) 原則として、公用車以外の自家用車等による送迎及び校内への乗り入れは禁止する。
- (4) 初任教育において、6月に危険物取扱者試験乙種第4類の受験をするので、次のものを入校時に持参させること。

なお、甲種及び乙種全類取得者を除く。

(注) 受験申請は、入校後に団体受験扱いにより消防学校で一括して申請する。

ア 試験手数料（乙種 5,300 円）

(注) 乙種第4類の既取得者についても、乙種第1、2、3、5、6類のいずれかを受験するので、その試験手数料及び既得免状を持参すること。

イ 受験票貼付用写真（1枚）

- (ア) 縦4.5cm×横3.5cmであること。
- (イ) 無帽、無背景、正面、上三分身像であること。
- (ウ) 令和7年1月以降に撮影したものであること。
- (エ) 枠無し、鮮明なものであること。

3 入校関係書類提出上の注意事項

(1) 「入校推薦書」【様式第1号又は様式第1号の2】

- ア 消防本部（局）名又は消防団名は、条例に規定する名称を正確に記入すること。
- イ 年齢上位の者から記入すること。
- ウ 氏名欄は戸籍上の正式な氏名を記入すること。

(2) 「身上調書」【様式第2号】

- ア 必ず、本人が作成すること。
- イ 消防本部（局）名は、条例に規定する名称を正確に記入すること。
- ウ 顔写真（画像データの貼付け可）は、制服着用（初任科は私服可）、脱帽・上半身のみで直近6か月以内に撮影したものとする。
- 写真の場合は、縦3.0cm×横2.4cmとし、裏面に所属及び氏名を記載し、1枚は身上調書に貼付し、1枚は同封すること。

画像データを貼付けた場合は、同じ画像データを顔写真台紙（P45）に貼付し、教務課のメールアドレス（fd-school-kyomu@pref.shizuoka.lg.jp）に送信すること。

エ [役職名記入例]

〇〇課長、〇〇係長、〇〇係主任、〇〇係員、主幹、主査、主任等

(注) 課制、係制のない署・出張所等で職名がない場合は、署員・出張所員と記入すること。

- オ 年齢は、入校日を基準とすること。
- カ 最終学歴は、初任科のみ学校名・学部・学科を記入すること。
- キ 職歴・家族の状況は、初任科のみ記入すること。
- ク 業務別従事期間は、実際に業務として勤務した主務期間について記入すること。
- ケ 現所属部署は、担当係名まで記入すること。
- コ 消防学校歴は、初任科を含め全ての教育訓練の年度、名称、期別について記入すること。
- サ 消防職員特別教育ホットトレーニング講習については、裏面の記入は不要とする。

(3) 「意見書」【様式第3号】

次に該当する場合のみ提出すること。

ア 「特記事項」欄については、次の事項に該当する場合は記入すること。

- (ア) 入校資格に「原則として・・・」と規定している階級その他から外れている。
- (イ) 初任科、水難救助科及び救助科の入校予定者で、健康診断書結果が、再検査、要精密検査、要受診又は要治療継続である者
- (ウ) 医師から運動制限等の指導等を受けており、ランニング不可、食物アレルギーその他の事情により、入校予定者に対して特に配慮してもらいたい事項がある。
- (エ) 昇任試験を受験させるため欠席する。
- (オ) 葬儀、出産、育児、介護等により、入校推薦時に欠席しなければならない事情が予想される者

イ 「推薦理由」欄は、アに該当する者を入校させる推薦理由を記入すること。

(4) 「職員健康診断書（写）」

ア 初任科、水難救助科及び救助科に限る。

なお、原則として、入校日1年以内に実施したものを提出すること。

また、医師による心電図検査結果を含む。

イ 水難救助科は、健康診断項目に耳鼻を追加すること。

(耳抜きが正常にできる場合は、意見書への記入で可とする。)

区分	教育訓練の種類別	入校日	入校書類受付締切日	入校決定通知	入校関係書類				
					入校推薦書	身上調書	意見書	健康診断書(写)	その他
消防職員教育	初任科	令和7年4月7日(月)	令和7年1月14日(火)	令和7年3月上旬	○	○	○	○	支給品サイズ調査表
	水難救助科	令和7年6月24日(火)	令和7年4月11日(金)	令和7年5月中旬	○	○	○	○	健康診断(耳鼻追加)
	救助科	令和7年9月30日(火)	令和7年7月4日(金)	令和7年8月上旬	○	○	○	○	
	潜水士試験対策講習	令和7年9月30日(火)	令和7年7月4日(金)	令和7年8月上旬	○	○	○	○	
	上級幹部科	令和7年10月6日(月)	令和7年7月18日(金)	令和7年8月下旬	○	○	○	○	
	初級幹部科	令和7年10月9日(木)	令和7年7月18日(金)	令和7年8月下旬	○	○	○	○	
	警防科	令和7年11月5日(水)	令和7年8月13日(水)	令和7年9月中旬	○	○	○	○	
	中級幹部科	令和7年11月11日(火)	令和7年8月21日(木)	令和7年9月下旬	○	○	○	○	
	女性消防吏員講習	令和7年11月26日(水)	令和7年9月5日(金)	令和7年10月上旬	○	○	○	○	
	ホットトレニング講習	別途通知		令和7年9月12日(金)	令和7年10月中旬	○	○	○	
消防団員教育	火災調査科	令和7年12月8日(月)	令和7年9月26日(金)	令和7年10月下旬	○	○	○	○	
	救急科	令和8年1月6日(火)	令和7年9月26日(金)	令和7年10月下旬	○	○	○	○	
	指令センター員講習	令和8年1月13日(火)	令和7年10月31日(金)	令和7年12月上旬	○	○	○	○	
	実践的大規模災害対応講習	令和8年2月4日(水)	令和7年11月7日(金)	令和7年12月中旬	○	○	○	○	
	予防査察・危険物科	令和8年2月24日(火)	令和7年11月28日(金)	令和8年1月中旬	○	○	○	○	
	指揮幹部科現場指揮課程	令和7年9月28日(日)	令和7年7月18日(金)	令和7年8月下旬	○	○	○	○	
	女性消防団員研修会	令和7年10月19日(日)	令和7年8月6日(水)	令和7年9月上旬	○	○	○	○	
	警防科	令和7年10月26日(日)	令和7年8月13日(水)	令和7年9月中旬	○	○	○	○	
	初級幹部科	令和7年11月8日(土)	令和7年8月29日(金)	令和7年9月下旬	○	○	○	○	
	指揮幹部科分団指揮課程	令和7年12月14日(日)	令和7年10月3日(金)	令和7年11月上旬	○	○	○	○	
災害対策講習	令和8年1月25日(日)	令和7年11月7日(金)	令和7年12月中旬	○	○	○	○		

入校経費一覧表

	教育種別 (訓練実施期間)	納入期限	合計	内 訳				
				図書 教材費	視察 研修費	共益費	食費	
消 防 職 員	初任科 (4月7日～9月26日)	第96期	令和7年4月18日 (金)	329,860	105,100	39,000	36,120	149,640
	水難救助科 (6月24日～7月11日)	第33期	令和7年6月13日 (金)	77,440	43,000	10,300	3,790	20,350
	救助科 (9月30日～10月28日)	第42期	令和7年9月12日 (金)	62,680	21,900	6,300	7,290	27,190
	潜水士試験対策講習 (9月30日)	第21回	令和7年9月19日 (金)	5,260	4,700	0	10	550
	上級幹部科 (10月6日～10月8日)	第24期	令和7年9月26日 (金)	12,350	6,600	0	2,150	3,600
	初級幹部科 (10月9日～10月23日)	第27期	令和7年9月26日 (金)	28,350	11,700	0	4,570	12,080
	警防科 (11月5日～11月20日)	第20期	令和7年10月24日 (金)	53,380	26,300	6,110	4,870	16,100
	中級幹部科 (11月11日～11月20日)	第39期	令和7年10月31日 (金)	25,380	11,600	0	3,710	10,070
	女性消防吏員講習 (11月26日～11月28日)	第8回	令和7年11月14日 (金)	10,220	4,400	0	2,250	3,570
	ホットトレーニング講習 (12月3日～2月18日)	第4回	令和7年11月21日 (金)	1,610	1,600	0	10	0
	火災調査科 (12月8日～12月19日)	第50期	令和7年11月28日 (金)	62,330	44,400	0	4,010	13,920
	救急科 (1月6日～2月27日) ※入寮：2月10日～2月19日	第35期	令和7年11月28日 (金)	46,120	32,000	0	3,570	10,550
	指令センター員講習 (1月13日～1月16日)	第8回	令和7年12月26日 (金)	12,360	5,000	0	2,200	5,160
	実践的大規模災害対応講習 (2月4日～2月6日)	第8回	令和8年1月23日 (金)	8,170	2,500	0	2,090	3,580
	予防査察・危険物科 (2月24日～3月12日)	第10期	令和8年2月13日 (金)	61,820	40,100	0	5,070	16,650
消 防 団 員	指揮幹部科現場指揮課程 (9月28日)	第12期	令和7年9月19日 (金)	780	230	0	10	540
	女性消防団員研修会 (10月19日)	第8回	令和7年10月10日 (金)	800	250	0	10	540
	警防科 (10月26日)	第20期	令和7年10月17日 (金)	780	230	0	10	540
	初級幹部科 (11月8日)	第17期	令和7年10月31日 (金)	780	230	0	10	540
	指揮幹部科分団指揮課程 (12月14日)	第11期	令和7年12月5日 (金)	780	230	0	10	540
	災害対策講習 (1月25日)	第22回	令和8年1月16日 (金)	970	420	0	10	540

(1人当たり 単位：円)

* 食事単価 (税込) 朝食：410円、昼食：520円、夕食：560円、校外食：原則880円(予算範囲内で対応)

* 初任科の実務研修(5日)、夏季休暇(3日)及び救急科の病院実習(3日)は、食数に含めていません。

* 救急科は入校前に教材を配布する必要があるため、早い納入期限を設定しています。

○入校・受講経費の納入

入校経費は、消防本部、消防団又は市町ごと一括して、納入期限までに指定口座へ納入してください。

【指定口座】

静岡銀行 興津支店 普通 0341030 静岡県消防学校 学生会計 ※口座名省略不可

* 入校・受講経費の請求書及び領収書は、原則として発行しません。

ただし、会計上特に必要な場合は、その旨を総務課へお知らせください。

* 入校・受講経費は、原則として返金はしません。ただし、入校辞退・退校の場合は

その時期によって、発注済みでない内訳額の返金に応じます。

余白

第 4

入校関係書類

入 校 推 薦 書

年 月 日

静岡県消防学校長 様

消防本部名

任命権者名

静岡県消防学校教育訓練規程第14条の規定に基づき、消防職員 教育

科・講習（第 期・回）の学生として下記の者を推薦します。

記

	階 級	氏 名 <small>(ふりがな)</small>		階 級	氏 名 <small>(ふりがな)</small>
1			6		
2			7		
3			8		
4			9		
5			10		

継続紙

	階 級	(ふりがな) 氏 名		階 級	(ふりがな) 氏 名

入 校 推 薦 書（消防団員用）

年 月 日

静岡県消防学校長 様

消防団名

団 長 名

静岡県消防学校教育訓練規程第14条の規定に基づき、消防団員 教育

科 課程・講習(第 期・回) の学生として下記の者を推薦します。

記

階 級	氏 名 <small>(ふりがな)</small>	生 年 月 日 年 齡 ・ 性 別	連 絡 先
			食物アレルギーが有る場合の内容
1		年 月 日 (歳) 男・女	TEL () -
2		年 月 日 (歳) 男・女	TEL () -
3		年 月 日 (歳) 男・女	TEL () -
4		年 月 日 (歳) 男・女	TEL () -
5		年 月 日 (歳) 男・女	TEL () -

※年齢は、入校日を基準とする。

事務担当課(係)名

担 当 者 職 氏 名

電 話 番 号

メー ル ア ド レ ス

継続紙

階 級	(ふりがな) 氏 名	生年月日 年齢・性別	連絡先	
			食物アレルギーが有る場合の内容	
		年 月 日 (歳) 男・女	TEL ()	—
		年 月 日 (歳) 男・女	TEL ()	—
		年 月 日 (歳) 男・女	TEL ()	—
		年 月 日 (歳) 男・女	TEL ()	—
		年 月 日 (歳) 男・女	TEL ()	—
		年 月 日 (歳) 男・女	TEL ()	—
		年 月 日 (歳) 男・女	TEL ()	—
		年 月 日 (歳) 男・女	TEL ()	—
		年 月 日 (歳) 男・女	TEL ()	—
		年 月 日 (歳) 男・女	TEL ()	—
		年 月 日 (歳) 男・女	TEL ()	—

身 上 調 書

令和 年 月 日記入（表）

科 別	科・講習 第 期・回						写 真 ・上半身 ・脱帽 ・制服着用 ・縦 3.0 cm ・横 2.4 cm	
消防本部名								
階 級			役 職 名					
(ふりがな) 氏 名	生年月日 年 月 日(歳)(男・女)				血液型	型		
住 所	〒 _____ TEL () - _____							
緊急連絡先 <small>(住所・氏名(関係))</small>	〒 _____ TEL () - _____							
共済組合員証番号	記 号			番 号				
最終学歴 <small>(初任科のみ)</small> <small>(学校名・学部・学科)</small>								
職 歴 <small>(初任科のみ)</small>	会社名 自 年 月 日 ~ 至 年 月 日							
拝命年月日	年 月 日 拝命							
業務別従事期間	業務区分		主務期間		業務区分		主務期間	
	本 部	総務	年	月	署 所	警防隊員	年	月
		警防				救急隊員		
		予防				救助隊員		
		その他				その他		
合計						年	月	
所属部署 <small>(担当係)</small>	自 年 月 配属							
消防学校歴	年度 初任 (科) ・ 課程 ・ 講習) 第 (期) ・ 回) 年度 (科 ・ 課程 ・ 講習) 第 (期 ・ 回) 年度 (科 ・ 課程 ・ 講習) 第 (期 ・ 回) 年度 (科 ・ 課程 ・ 講習) 第 (期 ・ 回) 年度 (科 ・ 課程 ・ 講習) 第 (期 ・ 回)							

- ※ 入校者本人が作成すること。
- ※ 年齢は入校日、また業務別従事期間は入校月を基準とする。
- ※ 個人情報の一部について（本部名、氏名、階級、年齢）は、学生名簿作成のため使用し、名簿は学生及び学校関係者に配布する。
- ※ 消防職員特別教育ホットトレーニング講習については、裏面の記入は不要とする。

免許・資格	※ 該当するものに○印を記入し、種類等を記入すること。			
	自動車運転免許（普通・普通<AT限定>・中型・大型）			
	救急救命士免許（免許登録番号）・受験資格 有			
	看護師免許			
	危険物取扱者免状（種類）			
	消防設備士免状（種類）			
	潜水士免許			
	陸上特殊無線技士免許（種類）			
	移動クレーン（5ト未満・5ト以上）			
	玉掛技能講習			
	第2種酸素欠乏危険作業主任者			
	防火対象物点検資格者			
	消防設備点検資格者			
	防火管理者			
	応急手当指導員			
	予防技術資格者（防火査察・消防用設備等・危険物）			
JPTEC 資格状況【プロバイダー・インストラクター】 認定番号 認定年月日				
家族の状況 (初任科のみ)	氏名	続柄	年齢	職業
食物アレルギー について 有・無 (いずれかに○)	<有の場合、以下のことについて詳細に記入すること> 1 食品、材料名： 2 必要となる配慮： (アレルギーの除去、調味料の制限、コンタミネーション対応の必要性等) 3 発症する症状： 4 エピペンの所持（有・無）、使用歴（有・無） ※コンタミネーションとは…食品を生産する際、原材料として使用していないにもかかわらず、調理機器等に付着したアレルギー物質が微量混入してしまうこと。			
備考				

意見書

科 別	科・講習 第 期・回
氏 名	
特記事項	
推薦理由	

次の事項に該当する場合に記入すること。「なし」の場合は、提出しなくてよい。

- *入校資格に「原則として・・・」と規定している階級その他から外れている。
- *入校期間中に通院その他の理由により、欠席又は外出（外泊）する。
- *昇任試験等により、予め欠席することが明らかな場合など、入校者に対し特に配慮してもらいたい事項がある。

入 校 辞 退 届

年 月 日

静岡県消防学校長 様

消防本部（団）名

任命権者（団長）名

消防職員（団員） 教育 科・講習（第 期・回）の入校生として入校決定を受けた下記の者について、静岡県消防学校教育訓練規程第17条第1項の規定に基づき入校を辞退します。

記

階 級	(ふりがな) 氏 名	辞 退 理 由

※ 辞退者が複数である場合、表の行を増やし記入する。

入校辞退者・入校決定者の変更申請

年 月 日

静岡県消防学校長 様

消防本部（団）名

任命権者（団長）名

消防職員（団員） 教育 科・講習（第 期・回）の入校生として、
年 月 日付け消学教第 号により入校決定を受けた下記の職員（団員）
について、止むを得ない理由が生じたので、入校を辞退し新たな職員（団員）
の入校を申請いたします。

記

1 辞退する職員（団員）

階級 氏名

辞退理由

2 新たに入校推薦する職員（団員）

階級 氏名

生年月日 年 月 日（ 歳） 男・女

連絡先 TEL（ ） ー

食物アレルギーが有る場合の内容（ ）

※ 辞退理由は具体的に記入すること。

※ 辞退理由について関連資料等がある場合、添付すること。

※ 辞退者が複数である場合、表としてもよい。

※ 新たに入校推薦する消防職員については、身上調書等を添付すること。

退 校 届

消防職員（団員） 教育 科・講習（第 期・回）に入校中の
学生は、下記の理由により退校したいので、静岡県消防学校教育訓練規程第
24 条第 1 項に基づき退校届を提出します。

記

所 属

階 級

氏 名

退校理由

静岡県消防学校長 様

年 月 日

消防本部（団）名

任 命 権 者 名

(用紙 日本産業規格 A 4 縦型)

顔写真台紙

消防本部名 _____

1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30

※入校推薦書記載の番号と同一番号に写真を貼付けること。

※PDF データとせず、Word データのまま教務課のメールアドレスに送信すること。

(用紙 日本産業規格 A 4 縦型)

通 学 届

消防職員 教育 科・講習 (第 期・回) について、下記のとおり公共交通機関以外を利用して通学するので提出します。

記

- 1 氏名
- 2 期間
- 3 通学手段
- 4 理由
- 5 車両

静岡県消防学校長 様

年 月 日

消防本部名

任命権者名

(用紙 日本産業規格 A 4 縦型)

初任科支給品サイズ調査表

消防本部署名 _____

氏名	品名	トレーニングウェア		Tシャツ	ハーフパンツ	編上靴	革手袋	備考
		上	下					

※ 下記サイズ基準表を確認し、記入すること。

- 1 トレーニングウェア、Tシャツ、ハーフパンツ及び革手袋はS～XOで記入し、編上靴は0.5cm単位で記入すること。

なお、支給時におけるサイズ変更はできないので、誤記入に注意すること。

- 2 サイズ基準表

概ね次の基準により、記入すること。

(単位 cm)

	S	M	L	O	XO
身長	162～168	167～173	172～178	177～183	182～188
胸囲	85～91	89～95	93～99	97～103	101～107
ウエスト	71～77	75～81	79～85	83～89	87～93
太股	48～53	50～55	52～57	54～59	57～62

※ 上記表に該当しない場合は、調査表に実寸を記入すること。

継続紙

氏名	品名	トレーニング ウェア		Tシャツ	ハーフ パンツ	編上靴	革手袋	備考
		上	下					

第 5

令和 5 年度教育訓練実績

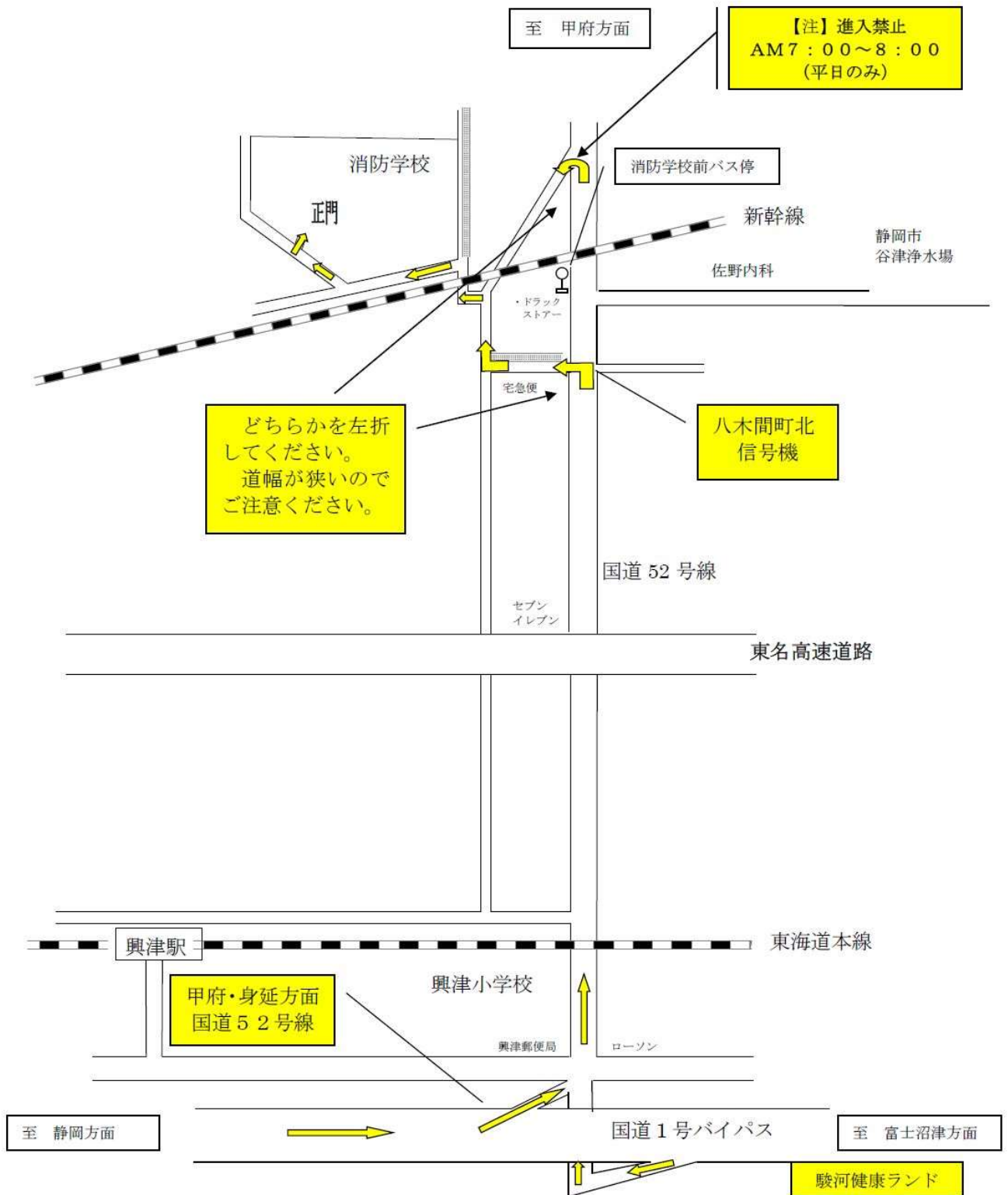
余白

令和5年度教育訓練実績

区分	教 育 科			実 施 年 月 日	実施日数 (実日数)
消 防 職 員	初任教育	初 任 科	第 94 期	令和5年4月6日～9月26日	115
	幹部教育	上 級 幹 部 科	第 22 期	令和5年10月11日～10月13日	3
		中 級 幹 部 科	第 37 期	令和5年11月13日～11月22日	8
		初 級 幹 部 科	第 25 期	令和5年10月16日～10月27日	10
	専科教育	救 助 科	第 40 期	令和5年10月3日～10月31日	20
		警 防 科	第 18 期	令和5年11月7日～11月22日	12
		予防査察・危険物科	第 8 期	令和6年2月28日～3月15日	13
		救 急 科	第 33 期	令和6年1月9日～2月29日	36
	特別教育	火 災 調 査 科	第 48 期	令和5年12月11日～12月22日	10
		水 難 救 助 科	第 31 期	令和5年6月27日～7月14日	14
		潜水士試験対策講習	第 19 回	令和5年10月3日	1
		女性消防吏員講習	第 6 回	令和5年11月29日～12月1日	3
		ホットトレーニング講習	第 2 回	令和5年12月6日～令和6年2月21日 の期間で計8日間実施	8
		指令センター員講習	第 6 回	令和6年1月16日～1月19日	4
		実践的大規模災害対応講習	第 6 回	令和6年2月7日～2月9日	3
	小 計 (A)				
消 防 団 員	幹部教育	初 級 幹 部 科	第 15 期	令和5年12月17日	1
		指揮幹部科現場指揮課程 (消防団員指導員研修)	第 10 期	令和5年10月1日	1
		指揮幹部科分団指揮課程	第 9 期	令和5年12月10日	1
	専科教育	警 防 科	第 18 期	令和5年11月26日	1
	特別教育	女性消防団員研修会	第 6 回	令和5年7月9日	1
		災 害 対 策 講 習	第 20 回	令和6年1月28日	1
小 計 (B)					6
そ の 他	「県民の日」消防学校訓練体験			令和5年8月18日	1
	県新規採用職員危機管理講座			令和5年10月4日～10月6日	3
	民間防火組織指導者消防学校体験入校			令和5年11月28日	1
	静岡県立焼津水産高等学校火災対応訓練			令和5年12月21日	1
	原子力規制庁火災防護訓練等実務研修			令和6年2月1日～2月2日	2
小 計 (C)					8
合 計 (A) + (B) + (C)					274

実施時間	受講人数	受講者・対象者	備考
797	117	消防士 117 (退校 3)	修了 114
21	13	消防監 1、司令長 8、司令 4	
56	20	司令 20	
70	18	司令補 16、士長 2	
140	45	司令補 1、士長 19、副士長 15、消防士 8、警正 (台湾) 2	
84	42	司令補 30、士長 12	
91	42	司令 1、司令補 9、士長 22、副士長 9、消防士 1	
252	117	司令補 7、士長 21、副士長 23、消防士 66 (退校 1)	修了 116
70	53	司令補 19 (未修了 1)、士長 21、副士長 1、警察官 12	修了 52
98	23	士長 7、副士長 3、消防士 13	
7	17	司令補 1、士長 1、副士長 1、消防士 14	
21	12	士長 5、副士長 1、消防士 6	
48	162	司令長 6、司令 24、司令補 71、士長 39、副士長 15、消防士 7	
28	16	司令補 4、士長 6、副士長 3、消防士 3	
21	18	司令 3、司令補 10、士長 5	
1,804	715		
12	40	分団長 6、副分団長 3、部長 4、班長 26、団員 1	一部 e-ラーニング
14	76	本部長 10、副本部長 5、分団長 7、副分団長 5、部長 11、班長 36、副班長 1、団員 1	一部 e-ラーニング
10	63	本部長 6、副本部長 4、分団長 17、副分団長 10、部長 23、班長 3	一部 e-ラーニング
12	64	副本部長 4、分団長 4、副分団長 5、部長 10、班長 14、団員 27	一部 e-ラーニング
5	48	分団長 5、副分団長 3、部長 4、班長 4、団員 32	
6	53	分団長 5、副分団長 3、部長 2、班長 16、団員 27	
59	344		
3	133	「県民の日」事業に応募のあった、主に小学生とその保護者	
21	228	県新規採用職員	
5	69	幼年・少年消防クラブの指導員、民間防火団体の役員等	
7	6	実習船「やいづ」の船員	
10	14	原子力規制事務所の原子力運転検査官、原子力安全審査官等	
46	450		
1,909	1,509		

消防学校案内図



・ JR 興津駅よりタクシーで約10分 (距離 2.6Km)

・ 静鉄バス利用の場合 興津駅より「^{ただぬま}但沼車庫行き」約10分(260円)、消防学校前下車 徒歩 5分